

プロジェクト1 新たな素材需給システムと木材需要創出 ～年間生産70万m3への挑戦～

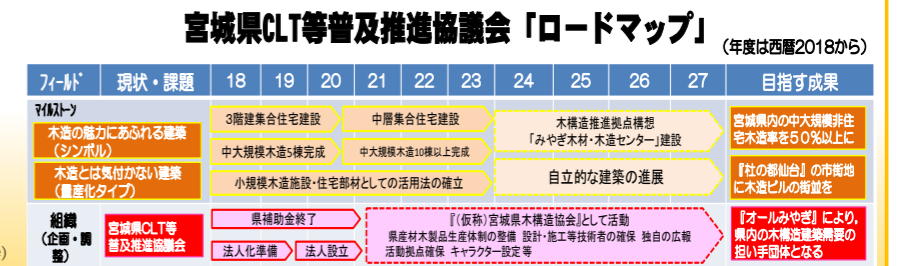
平成30年度の取組方向

- 本県は東北地方最大の消費地である仙台を擁し、全国有数の合板製造、大型製材、製紙工場の集積により原木需要を有している。これらのポテンシャルを最大限に活かし、川上から川下が連携し県産木材の利活用を促進し、一層の県内林業・木材産業の産業力強化を目指し林業振興を図る。
- 木材需要の創出に向けた取組として宮城県CLT等普及推進協議会の活動を支援しCLT等を用いたモデル施設の建築について支援するとともに、森林資源の循環利用を推進するため地域完結型の木質バイオマス活用を推進する。

主な取組 **宮城県CLT等普及推進協議会「ロードマップ」の策定【林業振興課】**

平成28年2月に県内の産学官で設立された「宮城県CLT等普及推進協議会」では、今後10年間の活動方針となるロードマップを策定し、計画的な取組を進めている。また、「県産材」「研究・技術開発」「設計」「施工」「普及広報」の5つの部会からなる運営委員会を組織して、各分野でより専門的な活動を開始した。

策定した「ロードマップ」(一部抜粋)



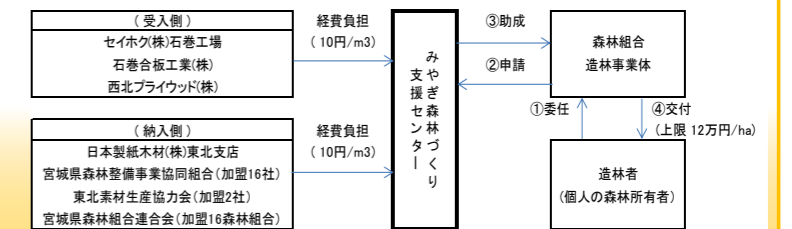
プロジェクト2 主伐・再造林による資源の循環利用

平成30年度取組方向

- 森林の多面的機能の持続的な発揮に向けて、森林所有者が行う再造林へ支援する「みやぎ森林づくり支援センター」の活動を推進し、森林資源の循環利用を促進する。また、林業事業体に対し一貫作業システムなど技術的支援についても併せて推進し施業の低コスト化を図る。
- 平成30年5月に可決された森林経営管理法による「新たな森林経営管理システム」導入に伴う市町村への支援を行う。

主な取組 **みやぎ森林づくり支援センターによる支援【林業振興課】**

合板製造企業と、丸太を納入する素材生産事業者で構成された「みやぎ森林づくり支援センター」は、それぞれ丸太の受入量又は納入量に応じて資金を拠出し、森林所有者の再造林活動を支援する取組(県の補助事業に助成金を上乗せ)を行っている。平成20年に全国初の取組として始まり、これまでに257ヘクタールの支援が行われている。さらに、今年度からは支援が拡充され、助成金の上限額がこれまでのヘクタール当たり10万円から12万円に引き上げられたことから、より一層の森林更新が期待されている。



みやぎ森林づくり支援センターの概要

プロジェクト3 経営能力の優れた経営者の育成、新規就業者の確保

平成30年度取組方向

- 経験年数に応じた体系的な育成研修を実施し、林業就業者の定着化と着実なキャリアアップを図る。また、高校生など教育衣機関と連携し生徒に環境や自然を守る大切な仕事として林業を認識してもらうための体験学習等を実施する。

主な取組 **森林施業プランナー育成に向けた取組【林業振興課】**

林業事業体においては、森林所有者に対する低コストで収益性の高い施業提案や、その実行を確保するための中核となる人材が必要とされている。県では、「林業人材育成ステップアップ研修」により森林所有者への施業提案を実践し、提案型集約化施業を実施できるこうした能力を身につけた森林施業プランナーを育成している。平成29年度は新たに12人が認定され、県全体で31人(15事業体)に増加し、各林業事業体において活躍している。



森林施業プランナー育成研修の様子

プロジェクト4 地域・産業間連携による地域資源の活用

平成30年度取組方向

- 森林資源の活用に向け、地域の事業者が連携するなど、森林認証材活用や多様な用途開発等を進め、地域産業の振興を推進する。また、県産きのこの魅力を発信するため、料理教室や販売会を開催するとともに新たなPR方法として、料理動画メディアを活用し広く情報発信を行う。

主な取組 **県産きのこの魅力発信に向けた異業種との連携【林業振興課】**

仙台市ガス局との共催で宮城県特用林産振興会と連携し、県産きのこを用いた料理教室を開催するとともに、動画メディアと連携して料理動画を配信し、調理方法と併せて県産きのこの魅力のPRを行った。さらに、県との地域活性化包括協定に基づき、(株)イオンや日本郵便(株)と連携し、生産者による試食販売を支援しながら、県産きのこのおいしさや安全性を広くPRを行う。引き続きこれらの取組等をつづけながら、県産きのこの魅力発信を行う。



料理動画メディアの撮影状況

プロジェクト5 海岸防災林の活用等による震災の教訓伝承と交流人口の拡大

平成30年度取組方向

- 東日本大震災の津波で流失した海岸防災林の復興に向けた取組として、海岸林の整備や環境・防災教育などのイベント開催を通じ、海岸防災林の重要性を広く紹介するとともに、復興支援から生まれた新たな絆をもとに交流人口を拡大し震災の教訓を伝承する。

主な取組 **みやぎ海岸防災林再生みんなの森林づくり活動への支援【森林整備課】**

「みやぎ海岸林再生みんなの森林づくり活動」として、植林活動希望者の公募受付や植樹活動の指導、植栽地の巡回による病害虫の発見など、団体等が行う活動に対して支援助言等を行った。この活動は、平成25年度から始まり、現在では30団体と38件、約136haの協定を締結し、森林づくりへの参加・協働を推進する。



海岸防災林の植林活動状況